

J C 総研 第 4 1 回公開研究会 次第

主催：(一社) J C 総研

〒162-0826

東京都新宿区市谷船河原町11番地

飯田橋レインボービル5階

電話：03-6280-7254

《日時》 2015年7月18日(土) 13:00~16:30

《場所》 明治大学(駿河台) グローバルフロント2F4021号教室

《研究課題》

「協同組合の雇用創出、経済波及効果」

《次第》

1. 開会あいさつ： 当研究所 常務理事 比嘉 政浩
2. 趣旨説明： 立命館大学 教授 秋葉 武 氏
3. 第1報告(報告65分、意見交換25分、計90分)
テーマ 「協同労働と地方」(仮題)
報告者 田嶋 康利 氏(日本労働者協同組合連合会 事務局長)
(休憩)
4. 第2報告(報告65分、意見交換25分、計90分)
テーマ 「協同組合における均等労働を考えるーEUの労働市場規制と生協の事例から学ぶ」(仮題)
報告者 柳沢 敏勝 氏(明治大学 教授)
5. まとめ・閉会あいさつ：立命館大学 教授 秋葉 武 氏

以 上

(各報告の詳細)

・第1報告 「協同労働と地方」(仮題)

報告者 田嶋 康利 氏 (日本労働者協同組合連合会 事務局長)

(報告内容 (予定))

全国各地の地方議会で「協同労働の協同組合」法制化早期実現意見書採択が行われてきた。一般社会で浸透していない「協同労働」だが、国会議員ではなく(人口減や雇用で悩む)地方議会議員こそ、それを理解すると地方こそ取り組みが必要である。これまでの運動を振り返り、地方の置かれた現状や地方議会との関わり方とともに、これまでの経験を通じた協同組合陣営の課題を提起する。

・第2報告 「協同組合における均等労働を考える－EUの労働市場規制と生協の事例から学ぶ」 (仮題)

報告者 柳沢 敏勝 氏 (明治大学 教授)

(報告内容 (予定))

日本の労働市場における非正規雇用の拡大が低所得者層の増大、格差拡大の温床となっており、問題となっています。EUでは有期雇用や短時間就労に関わる問題が意識され、厳しい規制が敷かれている。非正規雇用の生み出す問題に取り組む事例を取り上げながら、生協における均等処遇の意味について論じていただきたいと思います。

(※注)

上記報告内容(予定)は、JC総研事務局から各報告者に依頼した内容です。実際の報告内容と異なる可能性もありますので、あらかじめご承知おきください。